

2020・教室・講座・イベントの成果報告

主催者名	はまぎん こども宇宙科学館・洋光台サイエンスクラブ			
題名・副題	化学の不思議！つかめる水を作ろう ～水の不思議を発見しよう～			
月日・時間	7月12日（日）10:00～12:00			
開催場所	はまぎん こども宇宙科学館・2階実験室			
部会・講師名	大気・水環境部会 大岩俊雄	参加数	13名	講師数 5名
写真				
	人類が使える水はどれくらいあるの？		きれいな丸いつかめる水の玉を作り	
				
	着色した水玉づくりにも挑戦		洗濯糊で作ったスーパーボール	
成果解説	<p>この教室では、前半にクイズ方式で、水の大切さ（生物は生きるために水が必須）を学び、地球上の水循環、海の大切さや淡水化の行程としての雲についても学習します。また、人類が使用できる水は、地球上に存在する水のごく一部であることも学びます。後半では、化学の不思議「つかめる水を作る」実験を各自で実施して、水をつかむ体験をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちに水の大切さを知ってもらうコーナーでは、講師による寸劇を交えて食べ物よりも水があれば長く生きられることを理解してもらいました。 ・地球上の水がどこにあるか？どのような姿・形で存在しているか？どのくらいの量が生活で使える水か？をクイズ方式で考え、理解してもらいました。 ・アルギン酸ナトリウム水溶液をおたまに取って、乳酸カルシウム水溶液にゆっくり入れて、丁寧にかき混ぜることで、寒天のような水玉を搦り上げ、子どもたちは不思議な化学現象を体験しました。 ・今回の教室は、新型コロナウイルス感染対策を実施し、前年度に実施した学習内容の一部を見直して授業を行いました。 			